回覧

「佐渡島の金山」を未来につなぐ会講演会

世界遺産「佐渡島の金山」の価値

令和６年に「佐渡島の金山」は世界遺産に登録されました。その理由は、世界で産業革命が進むなか、佐渡では鎖国下で手工業による金生産技術が高度に高められていき、その痕跡が遺跡として現在も良好に残っているからでした。

山から鉱石を掘り出し、金を生産するまでは様々な工程がありますが、今回の講演では、それぞれの工程の中でどのような技術的工夫がなされたのかについて具体的に説明するとともに、金生産に従事した人々、更にそれら労働者を支えた生産体制についても触れ、世界の中でも稀有な鉱山遺跡であることを再認識していきたいと思います。



12月4日（金）

講演会　18:00 ～ 19:30

開　場　17:30

金井コミュニティセンター

２階大会議室

入場無料
要事前申込
定員 50 名先着順
（要事前申込：電話・メール）
〆切り 11 月 20 日（金）

講師 余湖（よご）　明彦（あきひこ） 様

略　歴

1964年佐渡市生まれ。
慶應義塾大学文学部卒業後、県内各高等学校教諭、県立文書館副館長、県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室副参事などを経て、2024 年３月退職。現新潟県立文書館文書調査員、新潟国際情報大学公開講座講師。佐渡金銀山をはじめとする佐渡の郷土史をテーマに研究を進めている。

世界遺産 佐渡島の金山

主催：「佐渡島の金山」を未来につなぐ会
後援：佐渡市、世界遺産『佐渡島の金山』を学ぶ会、首都圏佐渡連合会
協賛：株式会社ゴールデン佐渡
申し込み・問合せ先　「佐渡島の金山」を未来につなぐ会
〒 952-1393　新潟県佐渡市河原田本町 394　佐渡市役所佐和田市民センター右隣
電話 0259-52-0013（月・水・金　午前９時～12時）　Mail:kinnoshima@rainbow.plala.or.jp